

## 2023 年度 甲南大学大学院 入試問題

| 区 分            | 研究科         | 専 攻            | 試験科目        | 試験時間 | 試験日        |
|----------------|-------------|----------------|-------------|------|------------|
| 修士一般<br>(2次募集) | 社会科学<br>研究科 | 経済学専攻<br>税理コース | 専門<br>(租税法) | 60分  | 2023年2月18日 |

次のⅠ、Ⅱからいずれかを選択して論述しなさい。

Ⅰ. 近代国家において確立している租税法の基本原則について説明して下さい。なお、地方税に関する内容については言及しなくてよい。

Ⅱ. 法人税法上の「損金の額」について、以下の（問1）及び（問2）を両方とも解答すること。

①「原価の額」の損金計上に関する取り扱いについて

②「費用の額」の損金計上に関する取り扱いについて

③「損失の額」の損金計上に関する取り扱いについて

（問1） 上記①から③について法人税法上の「損金の額」の原則的取扱いを規定している根拠条文を示し、その法解釈に関して説明して下さい。

（問2） 法人税法上の「損金の額」について、別段の定めとして企業会計上の「費用」との取り扱いに相違があるものに関して、具体例（3つ以上）を挙げて説明して下さい。